

## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月11日

上場取引所 大

上場会社名 クラスターテクノロジー 株式会社  
 コード番号 4240 URL <http://www.cluster-tech.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 安達 稔

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 成瀬 俊彦

TEL 06-6726-2711

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	239	27.1	20	422.0	23	213.5	22	241.2
23年3月期第1四半期	188	17.3	3	—	7	—	6	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	398.06	—
23年3月期第1四半期	116.67	—

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
24年3月期第1四半期	1,988	—	1,834	—	92.3	
23年3月期	1,972	—	1,811	—	91.9	

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 1,834百万円 23年3月期 1,811百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	478	23.9	25	92.2	28	53.9	24	30.4	424.34
通期	901	14.9	25	0.3	31	△4.4	25	△19.0	440.80

(注)直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	56,928 株	23年3月期	56,928 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	— 株	23年3月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	56,928 株	23年3月期1Q	56,928 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. 四半期財務諸表等 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、円高や先進国の財務問題、新興国のインフレによる金融引締め等の懸念がありますが、新興国による景気拡大が継続し、輸出・生産には回復の兆しが生じています。また、大震災による大きな影響からも着実に立ち直りつつあるといえます。

このような状況の中、当社はナノテクノロジー技術を基とする当社独自技術による新材料・新製品の開発、生産プロセスの効率的な改善・改良及び製造原価や一般管理費の見直しによるコストダウン等に取り組みました。さらに、既存製品の新たな展開による、新分野・新規顧客の開拓を推進してまいりました。その結果、予定していた以上の成果を挙げ、黒字計上を継続することができました。

具体的な取り組みとして、営業・マーケティング本部は大手オプト・エレクトロニクス機器メーカーからの機能性素子部品の受注大幅増により前年同期を大きく上回る実績を挙げることができました。高熱伝導性の絶縁材料として注目されている「エポクラスタークーリエ」はパワー半導体封止材としてユーザーの評価段階の最中にあり、さらに試作段階に向けて推進しており、当事業年度に売上が期待できるようになりつつあります。また、ナノテク分野やバイオ分野研究者の関心の高いパルスインジェクター（以下P I J）は従来の3機種と、新開発の細胞吐出に適した大容量ノズルのP I Jが、大手企業、大学研究室へのPR等、営業・マーケティング本部と開発本部との連携により前事業年度の実績を大きく上回る売上実績を着実に増やすことが出来ました。

当社は製品の品位と品質向上のために生産現場では品質管理活動を最重要課題とし徹底化してきました。その結果、信頼性向上・品質の安定と不良率の低下等の成果を上げ、得意先から検査管理体制で高い評価を得ています。また、一般管理費については、開発費の絞込み、電力費の削減、諸経費の見直し等により、引き続き抑制する努力を継続中であります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業

ナノ/マイクロ・テクノロジー関連事業は、大手オプト・エレクトロニクス機器メーカーからのデジタル機器部品の受注が好調に推移いたしました。その結果、成形材料及び機能性・精密成形品並びにP I J関連製品の当第1四半期累計期間の売上高は189百万円（前年同期比27.4%増）、セグメント利益は85百万円（前年同期比22.7%増）となりました。

#### ②マクロ・テクノロジー関連事業

マクロ・テクノロジー関連事業である本事業の成形碍子用複合材料、複合材料成形碍子及び金型・部品の当第1四半期累計期間の売上高は49百万円（前年同期比43.3%増）、セグメント利益は16百万円（前年同期比51.2%増）となりました。成形碍子関連は、日本経済の回復、東日本大震災の復興及び新興国インフラ需要等により、売上は増加致しました。また、車輻用端子等販売の新規分野顧客開拓活動を継続しており、徐々に取引先は増加しております。

#### ③その他

医療品容器の異物検査事業の当第1四半期累計期間の売上高は0百万円（前年同期比94.4%減）、セグメント利益は0百万円（前年同期比93.5%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は239百万円（前年同期比27.1%増）、売上総利益は102百万円（前年同期比23.7%増）、営業利益は20百万円（前年同期比422.0%増）、経常利益は23百万円（前年同期比213.5%増）、四半期純利益は22百万円（前年同期比241.2%増）となり、売上高の増加と共に、コストダウン継続による利益率の維持と販売管理費の抑制を行ったことにより、上記のような結果となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

財政状態につきましては、総資産は1,988百万円となり、平成23年3月期末に比して15百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産の増加16百万円によるものです。また、純資産は、1,834百万円となり、平成23年3月期末に比して22百万円増加いたしました。これは主に、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

また、自己資本比率は、平成23年3月期に比して0.4ポイント増加の92.3%となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期は、売上、利益共に当初予想を上回る結果となりましたが、通期予想は不確定な要素も残っており、現時点では今期の業績予想は変更いたしません。

2. 四半期財務諸表等

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,164,427	1,126,716
受取手形及び売掛金	133,980	155,125
商品及び製品	37,371	25,925
仕掛品	24,058	45,263
原材料及び貯蔵品	23,765	26,505
その他	2,414	5,487
流動資産合計	1,386,018	1,385,023
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	307,952	308,316
土地	240,988	240,988
その他(純額)	33,014	49,353
有形固定資産合計	581,955	598,658
無形固定資産	414	383
投資その他の資産	4,184	4,130
固定資産合計	586,554	603,172
資産合計	1,972,573	1,988,195
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	52,706	49,435
1年内返済予定の長期借入金	4,212	4,212
未払法人税等	6,848	2,445
賞与引当金	11,345	7,200
その他	78,543	81,438
流動負債合計	153,656	144,732
固定負債		
長期借入金	6,503	6,503
役員退職慰労引当金	—	1,885
その他	494	494
固定負債合計	6,998	8,883
負債合計	160,654	153,616
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,240,721	1,240,721
資本剰余金	1,393,981	1,393,981
利益剰余金	△822,784	△800,123
株主資本合計	1,811,918	1,834,579
純資産合計	1,811,918	1,834,579
負債純資産合計	1,972,573	1,988,195

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	188,684	239,848
売上原価	106,135	137,775
売上総利益	82,548	102,073
販売費及び一般管理費	78,648	81,712
営業利益	3,900	20,361
営業外収益		
受取利息	1,190	863
助成金収入	2,400	2,250
その他	77	94
営業外収益合計	3,668	3,208
営業外費用		
支払利息	66	47
その他	0	0
営業外費用合計	66	47
経常利益	7,502	23,521
税引前四半期純利益	7,502	23,521
法人税、住民税及び事業税	861	861
法人税等合計	861	861
四半期純利益	6,641	22,660

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。